

防災NEWS

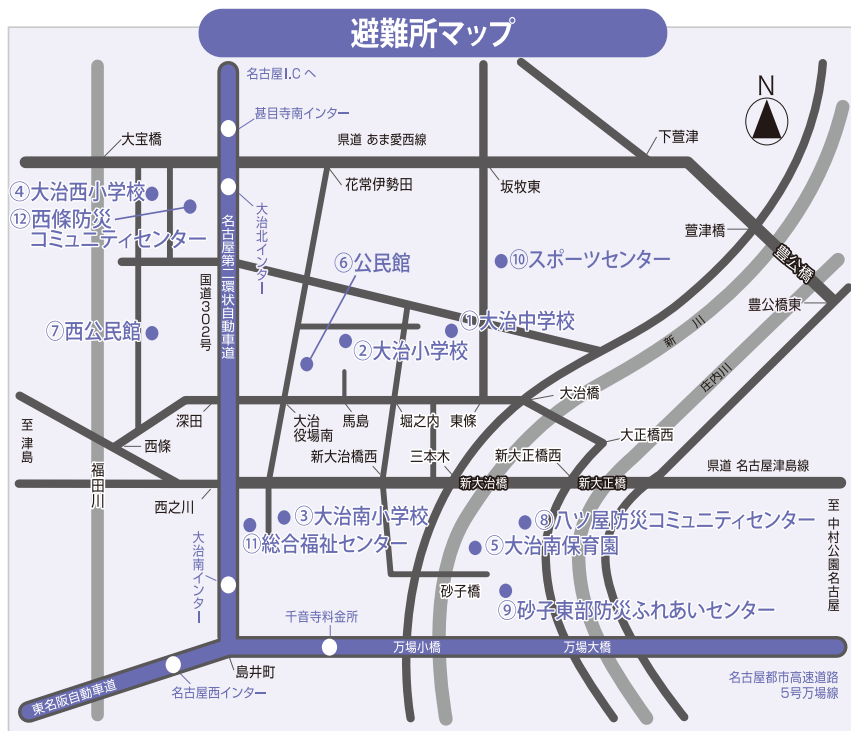


避難について

考えましよう

命を守るために、災害が起こる前に避難することが必要です。町には指定避難所が12施設ありますが、町域に拘ることなく、親族や知人宅に滞在することも

- 避難の一つです。自分に合った避難先を事前に考えましよう。
- ① 避難準備・高齢者等避難開始
 - 避難に時間を有する人と支援する人は避難を開始する。
 - その他の人は、いつでも避難できる準備を整える。



※昨年4月1日より災害対応の拠点としての対応に集中するため、役場庁舎の避難所指定を解除しました。



防災気象情報を活用しましよう

気象庁は、雨による災害発生の危険度の高まりを評価する技術を活用し、危険度分布の提供をしています。

これは、大雨・洪水警報が発表されたときに、実際にどこで危険度が高まるかを、色分け表示

※これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

問合せ先 役場 防災危機管理課
内線151・152

② 避難勧告
速やかに避難場所へ避難する。

③ 避難指示(緊急)
まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難する。

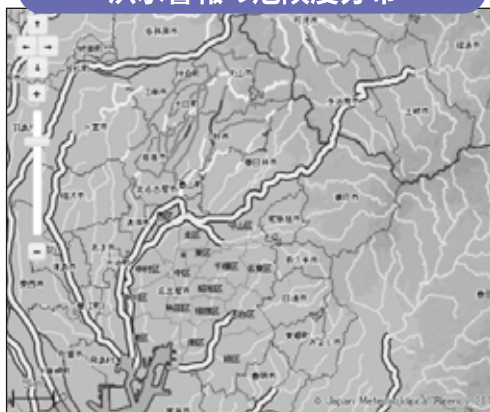
※外出することがかえって命に危険がおよぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難してください。

※必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。

大雨警報(浸水害)の危険度分布



洪水警報の危険度分布



により一目で分かるようになっています。詳しくは、気象庁ホームページをご覧ください。

問合せ先 名古屋地方気象台
防災グループ
☎(751)5124

家具の転倒防止をしましょう

家具を固定することは、地震に対する備えとして極めて有効な対策です。

家具の転倒・落下により、けがをするだけでなく、倒れた家具により、部屋の出入り口や廊下がふさがれ、避難することが困難になります。日頃から家具の固定をし、配置を考えて地震に備えましょう。

タンス・棚

L字金具などで固定します。支え棒を使用する場合は壁側の位置に設置し、免震ゴムを家具の手前側に入れるとよいでしょう。

上段と下段に分かれたキャビネットなどは、つなぎ目を金具で連結します。

テレビ

家具の上などには置かず、できるだけ低い位置に置いて固定します。

額縁

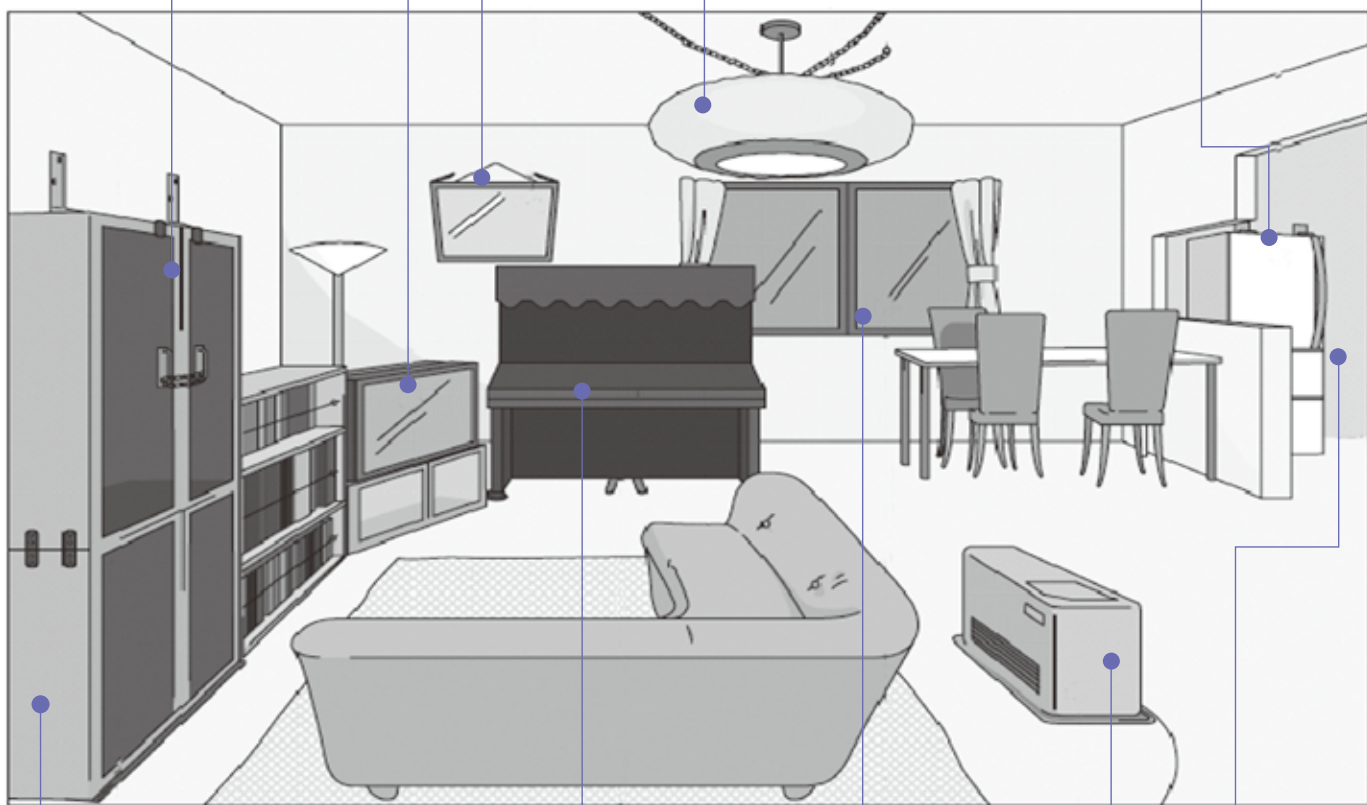
チェーンや金具でしっかり固定します。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。

照明器具

つり下げ式の照明器具については、チェーンと金具で数箇所を固定します。また、蛍光灯は、蛍光管の両端を耐熱性のテープで止めておきます。

冷蔵庫

粘着テープを使用した、転倒防止用の専用ベルトが市販されています。また、チェーン等で固定できるよう、上側にフックが付いている場合もあります。



食器棚

両開き扉タイプの食器棚などは、扉が開かないように止め金具を付けます。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。

ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻き付け、太めの柱に取り付けた金具に連結し、しっかりと固定します。脚には専用の滑り止め器具を付けましょう。和室用と洋室用の両方が市販されています。

窓

ガラス面に飛散防止フィルムを貼ります。

暖房器具

耐震自動消火装置付きのストーブを使用し、周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。

玄関・ブロック塀

玄関や縁側など、外への避難路となるところは、家具の転倒などでふさがれないよう、配置を工夫します。

ブロック塀のある家は、傾きやひび割れ、破損がないか点検しましょう。

問合せ先 役場 防災危機管理課 内線151・152

防災情報をメールで確認！

町メールサービスの登録をお願いします



防災情報・地震情報・気象情報・津波情報・防犯情報などの緊急情報をすばやくお届けします。

QRコードを読み取り「oharu@entry.mail-dpt.jp」へ空メールを送信し、登録してください。詳しくは、町ホームページをご覧ください。
※メールの受信に係る通信料などは、利用者の負担となります。



防災行政無線 電話応答ダイヤル

(444)2121

町が防災行政無線で直近に放送した内容を専用ダイヤルで聴くことができます。ぜひご活用ください。

⚠️「非常持ち出し品」と「備蓄品」を備えましょう

一言で備えと言っても、年齢、性別、家族構成、季節などによって必要な物は異なります。自分に必要な物を備え、定期的に中身の点検をしましょう。

●非常持ち出し品 (避難時に持ち出すもの)



ティッシュ、タオル、除菌シート、マスク、携帯電話の充電器、印鑑、現金(10円、100円硬貨を含む)、懐中電灯、ライター、ナイフ、下着、手袋、ラジオ、食品、ヘルメット、電池、水、健康保険証書の写しなど

●備蓄品(生活するためのもの)

ウォータータンク、カセットコンロ、カセットガス、水(調理用、生活用、飲料用)、食料(アルファ化米、缶詰め、レトルト食品、お菓子、栄養補助食品等)、缶切り、毛布、ろうそく、簡易トイレ、歯磨きシート、ウェットタオル、抗菌・消臭剤、救急セット、掃除用具など

事前準備のワンポイントアドバイス

- 自分が無事であるために、部屋や自宅周辺の危険箇所に対策を施しましょう。
- 救援物資が届くとは限りません。食料と水(飲料水は1人1日3リットル)は7日以上備えましょう。
- 非常持出袋などは、避難時に支障がない程度の量で、いつでも持ち出せる場所に置きましょう。
- 災害時は近隣との助け合いが不可欠です。普段から顔の見える関係を築きましょう。



排水機場に流れ着いた
ごみの状況

一見すると関係のなさそうだが、大雨とごみのポイ捨てですが、実は関係があります。

●**雨水の行方**
用水路↓排水機場
↓ポンプを使って河川へ

●**ポイ捨てされたごみの行方**
用水路などに捨てられたごみは、水と共に排水機場へ流れ着きます。流れずに、側溝などにごみが詰まることもあります。

防災豆知識

大雨と ごみのポイ捨て

●ごみによる影響

ごみは排水の妨げになり、雨水が河川に流れず、ごみが冠水被害をもたらす一因となります。また、ごみの影響による機械の故障の修理や、ごみの処分に費用がかかります。

●私たちにできること

当然ですが、ポイ捨てや不法投棄は違法です。梅雨の季節を迎えた今、その軽率な行為が災害の原因になり得ることも理解し、ポイ捨てや不法投棄のない、住みやすい大治町にしていきたいです。

問合せ先

- ・防災対策役場 防災危機管理課
内線 151・152
- ・排水対策役場 都市整備課
内線 130
- ・環境対策役場 産業環境課
内線 124